

特発性側彎症 脊椎後方固定術を受けられる患者さんへ

患者氏名:

さん

主治医署名:

担当医署名

受け持ち看護師署名

月日(日時)													～
経過(病日等)	手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	退院まで
達成目標	・手術の必要性を理解し、安心して手術を迎えることができる		・バイタルサインが安定する ・痛みの調整ができる ・傷の腫れ・発赤・熱感・出血がみられない ・転倒転落を予防する ・皮膚トラブルがない										・38度以上の熱や創部の赤み・腫れがない ・退院後の注意点について理解できる
治療・薬剤(点滴・内服)・リハビリ	午前中からの手術の場合は昼までに下剤を内服します。		手に点滴時の痛み止めのテープを貼ります。()		抗生剤の点滴が数日間あります。硬膜外麻酔チューブが背中に留置されます。(最長で5日間)								
			手術は()時からです。		・血栓予防のために足に弾性ストッキングやマッサージの器械をつけます。歩行の機会が増えれば医師の指示にて除去できます。 ・医師指示のもと必要に応じてリハビリが開始になります。								
処置	手術用の服に着替えます。		傷の状態を確認します。		出血がなければ毎日傷の確認のみ実施します。		抜糸します。		傷の確認をします。				
検査	採血・レントゲン・呼吸機能検査・心電図検査があります。		採血があります。		必要に応じて医師の指示により採血・レントゲン・CT検査があります								
活動・安静度	特に制限はありません。		体位変換をお手伝いします。 ※痛みに応じて少しずつ背もたれを上げていきます。 毎日動ける量を増やして座れるよう準備していきます。		痛みに合わせて起き上がっていきます。 歩行器を使用しての歩行練習を開始していきます。								
食事	特に制限はありません。(朝食は食べてください。夕食まで通常通り摂取します。)		絶水・絶食指示があります。 絶食 前日() 絶水 当日()		腸の音が確認できたら水を飲むことができます。 腸の音が確認できたら食事が開始となります。おかゆへの変更もできますので遠慮なくおっしゃってください。								
清潔	シャワー浴ができます。				術後3日目以降、発熱や傷の状態が問題なく医師の許可がおりればシャワー浴が開始となります。最初は看護師が介助します。自立できるよう入浴時の注意点を説明します。								
排泄	排便状況を確認します。		ベッド上で排泄します。尿は管が入っていますので自然に流出します。		歩行状態に合わせて尿道の管を抜きます。								
患者様及びご家族への説明・生活指導・リハビリ	・主治医からの手術説明があります。 ・麻酔科医からの説明があります。 ・血栓予防のための靴下のサイズを測ります。 ・手術室、集中治療室の看護師より説明があります。 ・看護師が術前術後の経過について説明しチェックリストで必要物品を確認します。各種同意書をお預かりします。		必要物品は別紙参照ください。テープ式オムツは病棟でも準備できますので、看護師に伝えてください。		・手術後、主治医からご家族に手術の結果の説明があります。 ・麻酔から覚めたら深呼吸をしましょう。手術後24時間以内は状態が変化しやすいため1-2時間毎に状態を観察します。 ・痛みがある場合は遠慮せずにお知らせください。状態に合わせて看護師が鎮痛剤の使用や体位変換などを行います。								看護師から退院後の生活についての説明があります。

*病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

*入院期間については現時点で予想される期間です